

第4期 上越市中心市街地活性化プログラム 令和7年度のフォローアップについて

中心市街地活性化プログラムでは、毎年度、統計データや各種取組主体へのアンケート調査により本プログラムの進捗状況を確認することとしています。数値等を指標として、現況を基準（ベンチマーク）に取組状況を確認するとともに、統計データ等からは測れない動きについても適宜、取りまとめを行います。

1 進捗状況を確認する指標

(1) 中心市街地の居住人口

【3年間の目標】 転入者の増加など減少率の緩和につながっている状態

【令和7年度実績】 高田地区、直江津地区ともに人口減少となった

指標	地区	R6.3	R7.3	R8.3
居住人口	高田	5,795人	5,697人	5,596人
	直江津	4,199人	4,092人	3,997人

(2) 施策による区域での居住環境の改善件数

- ・まちなか居住推進事業補助金

【3年間の目標】 毎年度10件程度の居住環境の改善の取組が進んでいる状態

【令和7年度実績】 高田地区で2件、直江津地区で4件の事業が実施された

指標	地区	R5年度	R6年度	R7年度
補助件数（合計）	高田	7件	1件	2件
	直江津	2件	4件	4件

＜R7年度対象町内＞

高田地区：大町五丁目、(南本町三丁目)

直江津地区：天王町、(福永町)

(3) 主要な公共・公益施設の利用状況

【3年間の目標】 年間来場者数が増加している状態

【令和7年度実績】 R6年度に比べ、高田地区で約3万人の減、直江津地区で約6万人の減となった

指標	地区	R5年度	R6年度	R7年度
年間来場者数	高田	981,736人	880,967人	850,115人
	直江津	935,476人	923,000人	860,614人

＜対象施設＞

高田地区：町家交流館高田小町、高田まちかど交流館、あすとぴあ高田、イレブンプラザ

直江津地区：直江津学びの交流館、ライオン像のある館、直江津ショッピングセンター

(4) 施策を活用した区域での商業振興・賑わいづくり事業件数等

- ・地域商業活性化事業補助金

【3年間の目標】 毎年度5件程度の事業が実施されている状態

【令和7年度実績】 高田地区で3件、直江津地区で1件の事業が実施された

指 標	地 区	R5 年度	R6 年度	R7 年度
地域商業活性化 事業補助金	高 田	5 件	3 件	3 件
	直江津	1 件	1 件	1 件

令和7年度は「プレミアム付商品券発行支援事業補助金」の実績を含む

- ・商店街等環境整備事業補助金

【3年間の目標】 毎年度3件程度の事業が実施されている状態

【令和7年度実績】 高田地区で3件の事業が実施された

指 標	地 区	R5 年度	R6 年度	R7 年度
商店街等環境整備 事業補助金	高 田	3 件	3 件	3 件
	直江津	0 件	0 件	0 件

- ・中心市街地活性化事業補助金（まちづくり会社交付金）

【令和7年度実績】 各事業でおおむね目標を達成した

事業名	R5 年度	R6 年度	R7 年度目標	R7 年度
高田本町 花フェスタ	4,200 人	4,000 人	4,200 人	2,500 人
本町商店街 春フェスタ	12,000 人	9,946 人	9,000 人	10,940 人
本町商店街 夏イベント	16,000 人	6,300 人	15,000 人	16,000 人
越後・謙信 SAKE まつり	23,000 人	30,903 人	32,000 人	40,073 人
うみがたり 周年祭	12,000 人	13,000 人	10,000 人	7,000 人
なおえつ 鉄道まつり	13,000 人	13,500 人	10,000 人	10,000 人

(5) 施策による区域での新規出店件数

- ・空き店舗等利用促進補助金

【3年間の目標】 毎年度3件程度の新規出店が継続している状態

【令和7年度実績】 高田地区で4件、直江津地区で1件の新規出店があった

指 標	地 区	R5 年度	R6 年度	R7 年度
新規出店者数	高 田	1 件	3 件	4 件
	直江津	2 件	0 件	1 件

<補助対象区域>

高 田 地 区：本町三丁目、本町四丁目、本町五丁目、本町六丁目、本町七丁目、大町五丁目
直江津地区：中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、住吉町、西本町一丁目、西本町二丁目、
西本町三丁目

2 中心市街地における取組状況に関するアンケート調査結果

- 令和8年2月に、商工団体や市民活動団体（高田地区22団体、直江津地区16団体）を対象に「中心市街地における取組状況に関するアンケート調査」を実施し、令和7年度の取組状況の確認や各団体が抱えている課題、次年度以降の取組について確認した。

(1) 令和7年度の取組

- プログラムの基本方針に基づいた事業に「取り組んだ」と回答した団体は高田地区で22団体中20団体（91%）、直江津地区で16団体中13団体（81%）であり、大多数の団体が基本方針に基づいた取組を実施した。
- 取組事例としては、高田地区では、アーケードや駐車場といった商店街の共有施設の改修を行うとともに、季節に合わせたイベントを実施し誘客を図った。直江津地区では、「うみがたり周年祭」や「なおえつ鉄道まつり」といった地域の特性を生かしたイベント開催をするなどして、にぎわい創出とまちなか回遊の促進に取り組んだ。両地区ともプレミアム付き商品券発行事業を行い、商店街での消費喚起を図った。また、両地区とも高校生などの若者が運営に携わるイベントが増えた。
- 両地区の空き店舗解消に向けた取組として、商店街の物件情報を取りまとめ、Webサイトで公開した。
- こうした取組の一方で、「取り組んでいない」と回答した団体は両地区合計で38団体中5団体（13%）あり、その理由・課題として人材不足や資金不足を挙げている。

○参考：アンケート調査の回答から抜粋

団体名・取組主体	内 容
本町三丁目商店街振興組合、 本町四丁目商店街振興組合、 本町五丁目商店街振興組合	アーケードや駐車場といった共有施設の改修を行い、来訪者の利便性の向上を図った。
本町345商店街連合会	プレミアム付商品券の発行やアーケード下を活用した季節に合わせたイベントを行った。 新規イベントとして、儀明川沿いの小彼岸桜並木のライトアップを行った。
直江津商店連合会	プレミアム付商品券発行事業、ダブルチャンス事業を実施した。
直江津まちづくり活性化協議会	「うみがたり周年祭」や「なおえつ鉄道まつり」を開催し、にぎわい創出やまちなか回遊の促進を図った。
直江津駅前商店街振興組合 直江津西部商工振興会	「互の市」及び「安国寺稲荷神社・府中八幡秋祭り協賛イベント」を開催し、活性化につなげるとともに、地域の交流の場としての役割を果たした。

(2) 今後取り組むことや検討していること

- ・高田地区、直江津地区ともに他団体との連携や地域外の人及び一般市民・学生を巻き込んだ取組のほか、周年事業を開催したいといった回答があった。

○参考：アンケート調査の回答から抜粋

団体名	内 容
城下町高田花ロード 実行委員会	イベント時だけでなく四季を通じて常に花と緑のある街として認識されるような商店街作りに取り組む。 イベントについては人材不足の問題を地元の学生達や他団体などと一緒に企画の段階から運営出来ればよいと検討している。
高田世界館	NHK 朝の連続テレビ小説「風薫る」をテーマにした営業
一般社団法人 雁木のまち再生	今年度は法人設立から 10 年となるため、歴史まちづくりや雁木の保全と空き家問題に関する記念フォーラムなどを開催し、賛助会員の増加と若い世代への継承を考えたい。
直江津西部商工振興会	他の商店街と連携したイベントの実施 空き店舗を活用した地域内学校との連携事業の開催
(株)マルケーエスシー開発 (直江津 SC エルマール)	地域密着型の SC の強みを生かして「用事がなくても来られる場所」にする。 年間を通して地域の情報発信地として「日常使い」＋「交流拠点化」を目指す。
直江津鉄道振興会 東日本鉄道 OB 会直江津支部	信越本線直江津駅-関山駅間開業 140 周年記念の行事・イベントを計画中

(3) 中心市街地の活性化に向けた意見・提案

- ・近年増加するインバウンドへの対応や、買い物困難者への支援、本町通りへの若手新規参入者に対する支援を求める回答があった。

○参考：アンケート調査の回答から抜粋

団体名	内 容
高田本町まちづくり 株式会社	2019 年に発行された英語版街歩きマップ（高田版と直江津版）の改訂と再発行
雁木のまち再生	スーパーや個店が減少して、高齢者や車を所有しない世帯の日常買い物支援がない。朝市など生鮮食品を中心とする店舗への支援をお願いしたい。 本町通りは若手の新規参入者にはコスト面の課題が大きい。 若手起業者や小規模事業者への支援が必要と考える。
直江津まちなか回遊促進 プロジェクト実行委員会	活性化に欠かせないのは、その街・その場所に暮らしている人達の「やる気」である。忙しくても「やる気」になるような取組及び人材確保が必要と思う。官民協力して街全体盛り上げられるような雰囲気になる事を望む。